

美々津中学校通信

3月号

R6. 3. 1

発行者校長



美々津中HPへ

忘れてはいけない 3・11東日本大震災

今年ももうすぐ三月十一日がやってきます。あの未曾有の被害をもたらした東日本大震災の起きた日です。あれから十三年。忘れてはいけないのですが、少しずつ危機感が薄らいできているのではと思っていた今年の元旦に、石川県能登半島地震が発生しました。「災害は忘れた頃にやってくる」といいますが、まさにそれだったと言わざるを得ません。

東日本大震災の教訓となったのは、「防災の準備」・「人とのつながりの大切さ」でした。と同時に、「生きること(命)の大切さ」も教えてくれたと思っています。いのちは、幾人もの人から想いととも受け継ぎ、自分が今いるということ。そして、同じように受け継いだ他の人々とその時代を生きているわけです。そんな尊い命を災害は一瞬にして消滅させます。しかし、亡くなってもその人が生きた時間は消えることはありません。この震災を機に、『生きる』いや『生き抜く』ことの大切さを私たちに問いかけているのではないのでしょうか。



そんな折、『花は咲く』という歌が作られました。NHKの東日本大震災復興支援プロジェクトのチャリティソングです。その歌詞の内容を見てみましょう。(一番の歌詞のみ載せます。)

真つ白な 雪道に 春風香る
わたしは なつかしい あの街を
思い出す
叶(かな)えたい 夢もあつた
変わりたい 自分もいた
今はただ なつかしい あの人を
思い出す
誰かの歌が聞こえる 誰かを励まして
誰かの笑顔が見える 悲しみの向こう側

花は 花は 花は咲く
いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く
わたしは何を残しただろう

この歌は、震災で亡くなった人の目で描かれ、優しく穏やかな文面で綴られています。内容を要約すると、誰の命もいつどうなるか分からないのだから、生きていく限り後の子孫のために誇れる生き方をしようというメッセージが込められています。ぜひ、この3月は、防災とともに『生きる』をテーマに考える時間にしてみてはどうでしょうか。

家庭教育学級閉級式

二月九日(金)の参観日・学級懇談の後、家庭教育学級閉級式を行いました。閉級式は、校長の私が『固定観念と差別意識』と題して講演を行いました。

内容は、「血液型占い・六曜・清め塩」の3点を取り上げ、根拠のあるものなのかどうかを取り上げました。

血液型による占い(人の特徴)は、客観的な根拠はなく、日本人に多いA型・O型の人に受け入れられるものとなっていること。また、六曜については、中国の吉兆占いから始まっており、配列は機械的で仏滅や大安などの設定に根拠は全くないということ。さらに、「清め塩」についても仏教とは関係がなく、死者が穢れるという考えは仏教の教えにはないことがわかっていきます。

これらのことから、私たちの中に知らず知らずのうちにすり込まれた意識が、いわゆる「先入観・偏見・固定観念」なのではないかと思われ、特に、先入観を形成するのは、家族や両親からの影響が大きいと考えられると、子どもとの会話も正しい認識のもとで発していく必要があるのではないかと投げかけました。正しい認識かどうか不確かな時は、子どもにどう思うかを問いかけ、コミュニケーションを深める材料にしてみてもよいのではないかと締めくくりました。

二年生「立志の集い」

二月九日(金)は、本年度最後の参観日が行われました。二年生は、今回が最後の参観日で本校恒例となつている『立志の集い』を計画しました。以前は、立志式と呼んでいましたが、これは昔の「元服」の儀式にちなんで、行われるようになったものです。

「元服」とは、奈良から平安時代に数え年の十五歳になつた男子は、大人になつた証として儀式を行う習慣がありました。それにちなみ、現代では、中学二年生(十四歳)のこの時期に、将来の目標や夢を明確にして誓いを立て、周囲の人に感謝することを目的として行われるようになっていきました。

本校では、『立志の集い』と題してこれからの目標を四字の熟語で表現し、決意を述べる形で実施しました。それぞれがしっかりと自分と向き合い、これからの目標を保護者の前で立派に宣言することができました。



社会を明るくする作文コンテスト 2名受賞

日向地区保護司会主催の『社会を明るくする運動』コンテストにおいて大田百華さん(二年生)と黒木実南さん(二年生)の本校2名が会長賞を同時受賞しました。

大田さんは、「社会を明るくする小さなこと」と題して、心掛けていることを5つ挙げています。誰かを一人にさせないこと、みんなが意見を言える雰囲気をつくること、つらいことがあったら経験だと思ふこと、人の意見を尊重すること、当たり前の事が幸せだと思ふこと、この5つを挙げ、人との関わり大切さやストレスを抱えすぎないことを理路整然と述べています。

一方、黒木さんは、「被害者を増やさないために」と題して、犯罪を犯した人が罪を償っても再び社会で生きていくことが難しい社会になつていくことを知り、そこには『偏見』が存在していることを指摘しています。世の中にある様々な偏見が人を苦しめ、集団社会の中で生きにくくしていることをデータ資料も交えて述べています。



二人とも根拠が明確で、説得力のある内容となっており、会長賞受賞も納得です。二人の作文は、一月二十五日付け夕刊デイリー新聞にも掲載されています。

二月十四日(水)には、日向地区保護司会長が来校され、表彰式が行われました。

安全集会(不審者対応)

二月十四日(水)、犯罪に直面した場面を想定し、危険を回避できることを目的に安全集会を実施しました。具体的には、学校に不審者が現れた時に、どのように行動すればよいかを学習する時間です。平成十三年に起きた大阪府の池田小事件のニュースを映像で振り返り、このような事態に遭遇したらどうするかを考えました。「逃げる」「先生に連絡する」「非常通報装置を押す」などが挙げられました。が、「全員に危険を知らせる」ことはなかなか難しいようです。そこで、美々津中生しか知らない暗号を放送で流すことで全員に周知する方法を取ることにしました。これだけでは十分ではありませんが、不審者に対するリスク感度を上げ、一刻も早く避難できるように今後も訓練を重ねていきます。



美々津スタイル学習会

二月十三日(火)、第4回美々津スタイル学習会が実施されました。二月十五日(木)、十六日(金)に予定していた第4回定期テストを前に、全校生徒でテストに向けての機運を高めることが目的です。全校生徒を縦割りグループ分けし、4つの教室に分かれて学習会を行いました。特に、上級生がお手本になるような学習の姿勢を見せることにより、下級生がそれに習うというのが本学習会のねらいです。そのねらい通り、静けさの中に緊張感のある雰囲気醸し出され、集中した学習会となりました。中には、廊下で待機している教科の先生方に質問に行く生徒も見られ、テスト前の子よい機会となりました。



【行事予定】

- 3月 1日(金) 県立高校卒業式
- 3月 4日(月) 県立一般入試事前指導
- 3月 5日(水)・6日(木) 県立一般入試
- 3月 8日(金) 3年生送別行事
- 3月11日(月) 振替休業日
- 3月13日(水)~15日(金) 卒業式練習
- 3月15日(金) 卒業式準備
- 3月16日(土) 第77回卒業式
- 3月17日(日) 家庭の日
- 3月18日(月) 県立高校合格発表
- 3月20日(水) 祝 春分の日
- 3月25日(月) 小学校卒業式
- 3月26日(火) 修了式
- 3月29日(金) 離任式

部活動計画

- ◆軟式野球部
 - 3月 2日(土) 練習試合(対北浦中 美々津中G)
 - 3月 9日(土) 合同練習会(美郷南G)
 - 3月20日(水) 練習試合(対椎葉中 美々津中G)
- ◆女子バレー部
 - 3月 2日(土) 練習試合(美々津中体育館)
 - 3月 9日(土) 練習試合(美々津中体育館)
- ◆女子ソフトテニス部
 - 3月 2日(土) 橋口スポーツ杯大会(お倉が浜)
 - 3月10日(日) 女子ソフトテニス部卒部式
- ◆卓球部
 - 3月20日(日) 中島スポーツ杯大会(延岡アリーナ)

★いよいよ冬場のトレーニングを発揮する春になります。練習の成果が発揮されるよう精一杯がんばっていきましょう!